



政進会
樋口千代子

2024年介護保険制度どう変わる

その他の
質問事項

▼ 認知症対策の推進について

◆2024年介護保険制度改正について

問 厚生労働省から、1号被保険者の保険料負担(65才以上保険料)について、所得の高い人はより多く、低所得の人にはより少なく負担という「方向性」が示されている。低所得の人に配慮し、現行の1段階設定を変更する考えはあるか。

答 制度改正の結論は年末まで延長された。国が示す所得段階が本市の現行より細かく設定された場合は、見直す必要があると考えている。

問 介護保険サービスの利用者負担が、改正案では原則2割負担になる。現行の1割負担から、2割に移行する方は何人か。

答 8月末現在、1割負担の方は3314人、2割の負担に変わる方は、129人が見込まれる。

要望 一人世帯、二人世帯の方が介護保険サービス

(長寿課)

又の利用を控えることで、地域から孤立し、状態が悪化しないよう、地域での見守り相談支援体制を充実していただきたい。

◆中心市街地活性化

問 ウイングロード内の飲食店の撤退や隣接する大きな街区の中の数店舗が休業や閉店になった。現状と今後の見通しは。

答 ウイングロード内のテナントや周辺エリアにおいて飲食店の休業・閉店が相次いでいる。リノベーション費用の助成制度もあることから、新たな出店希望もあり、新陳代謝が行われていると認識している。中心市街地のあるべき姿を念頭に据え検討していく。

(産業政策課)



中心市街地

歓迎、姉妹都市静岡県袋井市議会が来塩

議会の政策提言について実例紹介と意見交換

◆姉妹都市議会との交流

塩尻市議会は、姉妹都市議会との交流を通じ、観光の連携、災害時の協力、議員の意見交換などを推進しています。

7月3日に、静岡県袋井市議会の皆様が来塩され、塩尻市議会が、議員提案として制定した二つの条例について研修、意見交換を行いました。

◆議会基本条例について

本条例には議会が政策提言に取り組む旨が記されています。事例では、議会報告会等で市民の意見を全議員が共有し、問題解決のために提言を行うまでの経過を紹介しました。その一つとして、

近年、山林等への管理不全な太陽光パネルの設置が課題になっていた件では、市民から対応を求める声が寄せられたことで、議会が行政に対し設置や管理方法を定めた条例制定を提言し実現に至りま

した。

◆手話言語条例について

聴覚障害者協会から条例制定の要望があり、議員連盟を設置しました。

本条例は、聴覚障害者協会、手話通訳者、要約筆記者の皆さんと相当数の意見交換を重ね、当事者の皆様と一緒に作り上げたものです。条例施行後も手話に関する事業に積極的にご協力いただき充実した内容に繋がっていることを紹介しました。

終わりに、袋井市議会の鈴木弘陸議長からは、「議会運営を学び、袋井市議会にフィードバックしたい。」との感想をいただきました。



袋井市議会との意見交換会の様子